

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-86209

(P2001-86209A)

(43)公開日 平成13年3月30日(2001.3.30)

(51) Int.Cl.
H 04 M 1/03
11/00

識別記号
3 0 2

F I
H 04 M 1/03
11/00

A 5 K 0 2 3
3 0 2 5 K 1 0 1

テマコード*(参考)

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全6頁)

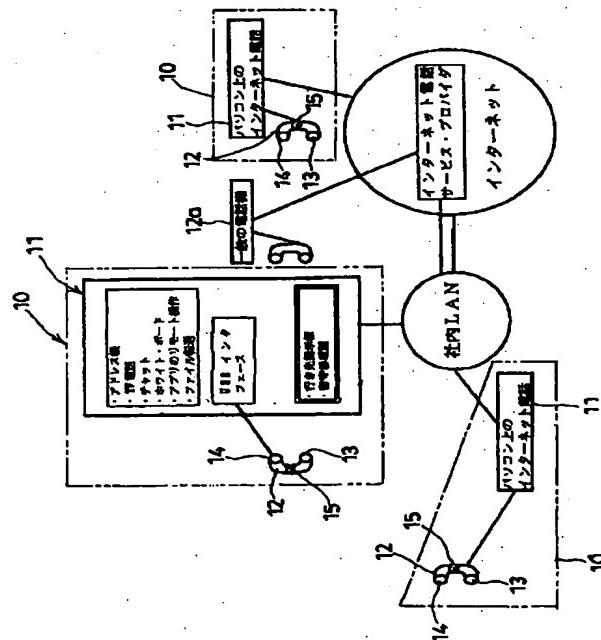
(21)出願番号 特願平11-262643
(22)出願日 平成11年9月16日(1999.9.16)

(71)出願人 000006220
ミツミ電機株式会社
東京都調布市国領町8丁目8番地2
(72)発明者 田原 良則
福岡県飯塚市大字立岩字帯田1049番地 九州ミツミ株式会社内
(74)代理人 100060575
弁理士 林 孝吉
Fターム(参考) 5K023 BB11 EE02 GG03 MM22 NN06
5K101 KK02 NN07 NN13 NN18 NN22
NN31 NN40 QQ05

(54)【発明の名称】 インターネット電話

(57)【要約】

【課題】 インターネット電話の利便性を向上する。
 【解決手段】 インターネット電話10のパソコン11に接続されたマイク13とスピーカ14とを一つの筐体に収容してハンドセット12を形成する。また、インターネット電話10に行き先掲示板機能を付加して呼出し側のインターネット電話10へ該行き先を通知する。また、該インターネット電話10に留守番電話機能を設け、用件やメモの記録或はファイルの転送を可能とする。



特開2001-86209
(P2001-86209A)

(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パソコンのマイクより音声を発信し、パソコンに接続されたスピーカにて音声を受信してインターネットを介して該音声を送受信できるようにしたインターネット電話において、該マイク及びスピーカを一つの筐体に収容してハンドセットを構成したことを特徴とするインターネット電話。

【請求項2】 インターネット電話に行き先掲示板機能を設け、該行き先や離席情報を設定できるようにすると共に、受信した電話に対して該行き先を音声にて通知し、更に、相手側の電話がパソコンを使用している場合には該行き先掲示板を該相手側のパソコンに表示できるようにしたことを特徴とするインターネット電話。

【請求項3】 スピーカとマイクを一つの筐体に収容してハンドセットを構成し、該ハンドセットに切替えスイッチを設け、更に、該ハンドセットをパソコンにUSB (UNIVERSAL SERIAL BUS) を介して接続できるように構成し、該切替えスイッチにて行き先を切替えると共に、該切替えスイッチにて切り換えた信号をUSBを介してパソコンへ送信できるように構成したことを特徴とする請求項1又は2記載のインターネット電話。

【請求項4】 インターネットを介して音声の送受信ができるようにしたインターネット電話において、該インターネット電話に留守番電話機能を設け、該留守番電話機能にて前記切替えスイッチが在席に設定されていないときには自動的に留守番電話モードに切り換えて用件の録音が可能となると共に、受信側のパソコンにファイルの転送やメモの記録ができるように構成し、画面にて留守番電話モードに記録されたことや用件の録音がある旨の通知をするように構成した請求項2又は3記載のインターネット電話。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネット電話に関するものであり、特に、インターネット電話の機能を向上したインターネット電話に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネットを利用した電話が普及されつつあり、該インターネット電話は長距離においても市内料金で通話できるというメリットがある。また、パソコンを利用したインターネット電話が開発され、該インターネット電話の機能にTV電話やホワイトボード等の機能が付加されている。

【0003】 また、図5に示すように、パソコン1を利用したインターネット電話2は、サウンドボード3に設けられた音声のアウトプットポートにスピーカ4を接続し、該サウンドボードのインプットポートにマイク5を接続して音声の送受信を行なうように構成されている。

【0004】 而して、パソコン1にてアドレスを指定し

てインターネット電話2をかけることにより、該マイク5にて音声を入力して受信側のパソコンのスピーカ4にて該音声を出力してインターネット電話2としての機能を發揮する。

【0005】 また、送受信の双方がパソコン1を用いたインターネット電話2の場合には、カメラ(図示せず)を接続してTV電話として利用することができ、更に、ホワイトボード機能を利用して双方にて該ホワイトボードに書き込みをすることにより会議の進行を円滑にすることができる。尚、現在はインターネット電話サービスプロバイダを介しては一般的な電話機6においてもインターネット電話を利用することができるシステムが構築されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来のインターネット電話はパソコンのサウンドカードにマイクとスピーカを接続して音声の送受信を行うように構成されている。

【0007】 しかし、マイクとスピーカとを利用するため、スペースを要すると共に、位置の調整を要し、使用に際して大変不便であった。

【0008】 また、受信側の使用者が不在のときには、不在の通知がなく、且つ、行き先も不明なため、出かけているのか離席しているだけなのか等の判断をすることができない。従って、インターネット電話を有効に利用することができないことがあった。

【0009】 そこで、マイクとスピーカの配置の調整等を不要とし、且つ、省スペース化を促進すると共に、使用者が不在であっても出張先や離席中等の通知ができるようにしてインターネット電話を有効に利用できるようにするために解決せられるべき技術的課題が生じてくるのであり、本発明は該課題を解決することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】 この発明は、パソコンのマイクより音声を発信し、パソコンに接続されたスピーカにて音声を受信してインターネットを介して該音声を送受信できるようにしたインターネット電話において、該マイク及びスピーカを一つの筐体に収容してハンドセットを構成したインターネット電話、及び、インターネット電話に行き先掲示板機能を設け、該行き先や離席情報を設定できるようにすると共に、受信した電話に対して該行き先を音声にて通知し、更に、相手側の電話がパソコンを使用している場合には該行き先掲示板を該相手側のパソコンに表示できるようにしたインターネット電話、及び、スピーカとマイクを一つの筐体に収容してハンドセットを構成し、該ハンドセットに切替えスイッチを設け、更に、該ハンドセットをパソコンにUSB (UNIVERSAL SERIAL BUS) を介して接続できるように構成し、該切替えスイッチにて行き先を

特開2001-86209
(P2001-86209A)

(3)

3

切替えると共に、該切替えスイッチにて切り換えた信号をUSBを介してパソコンへ送信できるように構成したインターネット電話、及び、インターネットを介して音声の送受信をできるようにしたインターネット電話において、該インターネット電話に留守番電話機能を設け、該留守番電話機能にて前記切替えスイッチが在籍に設定されていないときには自動的に留守番電話モードに切り換えて用件の録音が可能となると共に、受信側のパソコンにファイルの転送やメモの記録ができるように構成し、画面にて留守番電話モードにメモの記録がされたことや用件の録音がある旨の通知をするように構成したインターネット電話を提供せんとするものである。

【0011】

【発明実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図1乃至図4に従って説明する。

【0012】図1は、インターネット電話10の接続形態を示す概念図であり、パソコン11にハンドセット12が接続されている。該ハンドセット12はマイク13とスピーカ14とを一つの筐体に収容して構成されている。

【0013】また、該ハンドセット12はパソコン11のUSBインターフェイスに接続されている。更に、該パソコン11にはインターネット電話10の機能として従来のアドレス帳、TV電話、チャット、ホワイトボード、アプリケーションのリモート操作、ファイル転送等の機能に加えて行き先掲示板、留守番電話機能が付加されている。

【0014】一方、前記ハンドセット12には切替えスイッチ15が設けられている。該切替えスイッチ15は、図1及び図2に示すように、各行き先や離席情報または帰席予定時間を該ハンドセット12の切替えスイッチ15にて指定できるように構成している。

【0015】また、該切替えスイッチ15の指定する位置にどのような情報を設定するかはパソコン11にて入力することができる。従って、該切替えスイッチ15にて離席情報を設定すれば、USBインターフェイスを介して該設定情報をパソコン11に入力される。そして、パソコン11の行き先掲示板にて該行き先が掲示され、社内LANを介して使用者の所在を確認することができる。

【0016】更に、行き先掲示板機能にて設定された状態の情報は、呼出し側のインターネット電話11またはインターネット電話プロバイダを利用した一般電話12aに対して音声にて通知する。また、相手側がパソコン11を利用したインターネット電話10である場合には該行き先を相手側のパソコンに表示することができる。

【0017】更に、パソコン11に付加されている留守番電話機能は、送信信号を受信したインターネット電話10は切替えスイッチ15が在席に設定されていないときには自動的着信モードに切り替わる。そして、該イン

ターネット電話10に用件を音声データにて記録することができる。

【0018】また、呼出し側のインターネット電話10がパソコン11を利用していている場合にはキャラクタデータによるメモの記録やファイルの転送を該着信モードによって実行することができる。そして、用件の記録やメモの記録或はファイルの転送がされた場合には、パソコン11の画面に留守番記録がある旨のフラッグが立てられる。

【0019】図3はハンドセット12とパソコン11とを無線ハンドセット用送受信機16により無線にて接続している。そして、該ハンドセット12には短縮ダイヤル等のスイッチ(図示せず)を設けることにより、無線接続範囲内において使用者はパソコン上のアドレスを利用してインターネット電話10を利用することができる。

【0020】また、該ハンドセット12の切替えスイッチ15にて不在の設定をしておけば、該行き先掲示板機能の状態管理により不在の旨を呼出し側のインターネット電話10に通知することができる。更に、ハンドセット12に設けた切替えスイッチ15や短縮ダイヤルのスイッチを利用して行き先や帰席予定時間を設定できるように構成することにより、精度の高い行き先管理が可能となる。

【0021】図4はハンドセット12を無線LAN接続装置17により無線接続している状態を示す概念図である。この場合においても上述した図3に示すものと同様な作用を發揮する。更に、パソコン11に付加されている行き先掲示板機能や留守番電話機能はユーザ個々のパソコン11にインストールしても良く、また、サーバと称されるLANを統括するパソコン11にインストールして使用することもできる。

【0022】尚、本発明は、本発明の精神を逸脱しない限り種々の改変をなすことができ、そして、本発明が該改変せられたものに及ぶことは当然である。

【0023】

【発明の効果】請求項1記載の発明は、インターネット電話のマイクとスピーカを一つの筐体に収容しているので、該マイクとスピーカとの省スペース化を促進することができると共に、位置調整が不要となり容易に該インターネット電話を利用することができる。

【0024】請求項2記載の発明は、インターネット電話の行き先掲示板を設けて使用者の状態の管理をすることができますと共に、該状態を呼出し側の電話に通知できるように構成したので、使用者の状態を容易に把握することができる。また、パソコンを利用したインターネット電話においては、例えば行き先掲示板を呼出し側のパソコン上のウインドウを開いて表示し、使用者の行き先を確実に把握できるように構成している。

【0025】請求項3記載の発明は、ハンドセットに切

20

30

40

50

特開2001-86209
(P2001-86209A)

(4)

5

替えスイッチを設けて各行き先を設定できるように構成している。そして、USBを介して該設定情報がパソコンに送信されて掲示板に行き先が表示設定される。従つて、容易に行き先を設定することができる。

【0026】請求項4記載の発明は、インターネット電話に留守番電話機能を設けているので前記切替えスイッチが在席に設定されていない場合には、音声データにて用件を記録することができる。また、該留守番電話モードの際には、インターネット電話のパソコンにキャラクタデータによるメモの記録やファイルの転送をなすことができる。更に、用件の記録、メモの記録或はファイルの転送があった旨をパソコンにて使用者に認知せしめて残されたメッセージを確認することができる。

【図面の簡単な説明】

6

【図1】インターネット電話の概念図。

【図2】ハンドセットの切替えスイッチの正面図。

【図3】ハンドセットを無線ハンドセット用送受信機にて接続したインターネット電話の概念図。

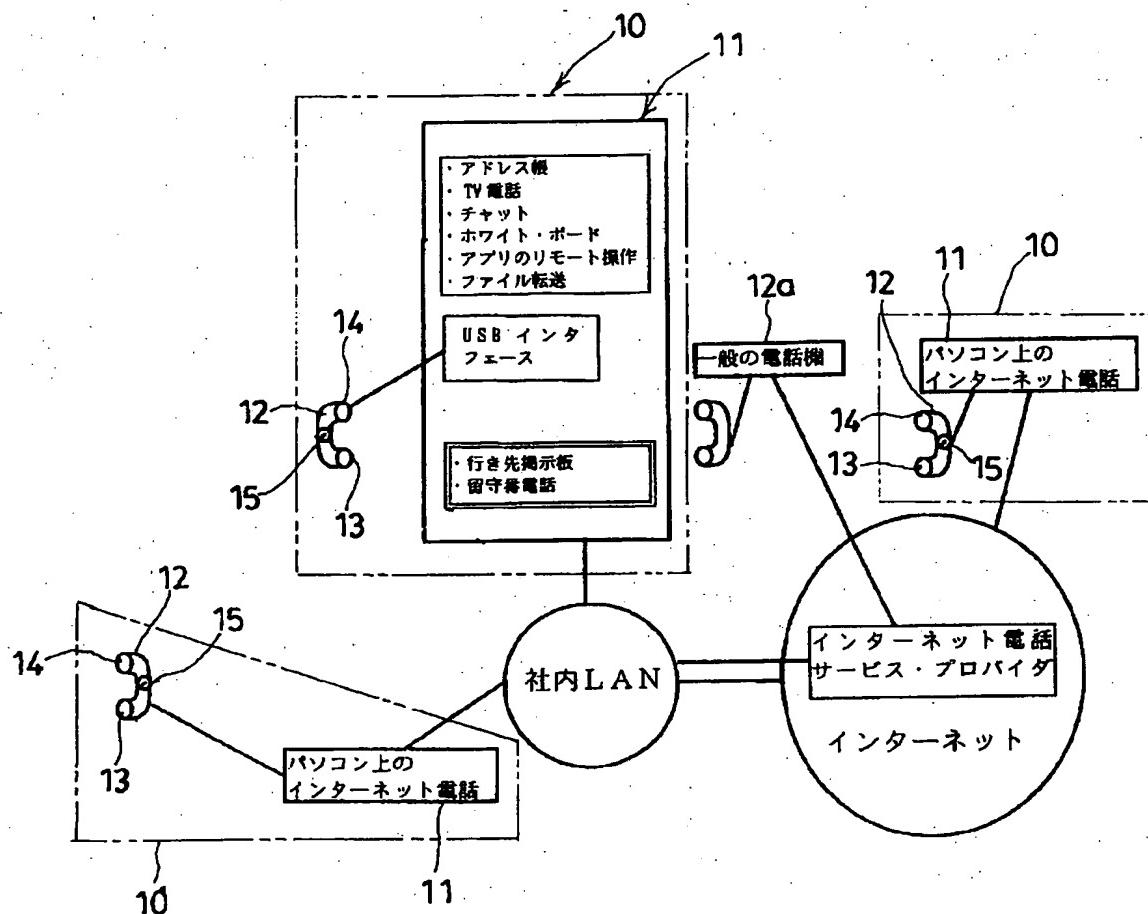
【図4】ハンドセットを無線LAN装置にて接続したインターネット電話の概念図。

【図5】従来例のインターネットの概念図。

【符号の説明】

- 10 インターネット電話
- 11 パソコン
- 12 ハンドセット
- 13 マイク
- 14 スピーカ
- 15 切替えスイッチ

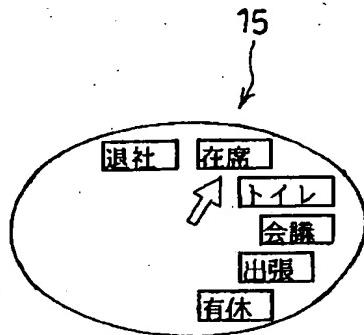
【図1】



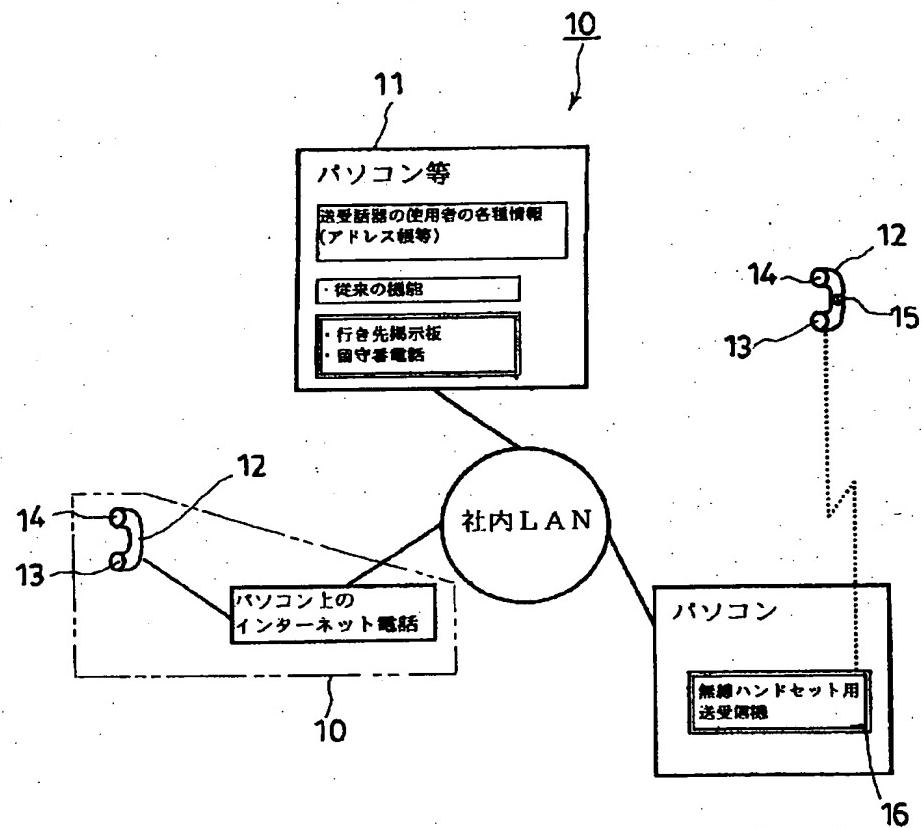
特開2001-86209
(P2001-86209A)

(5)

【図2】



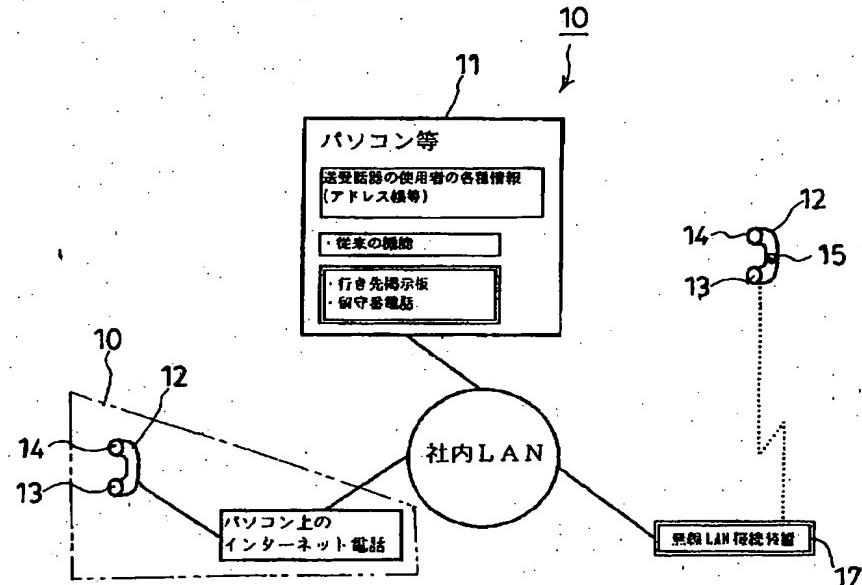
【図3】



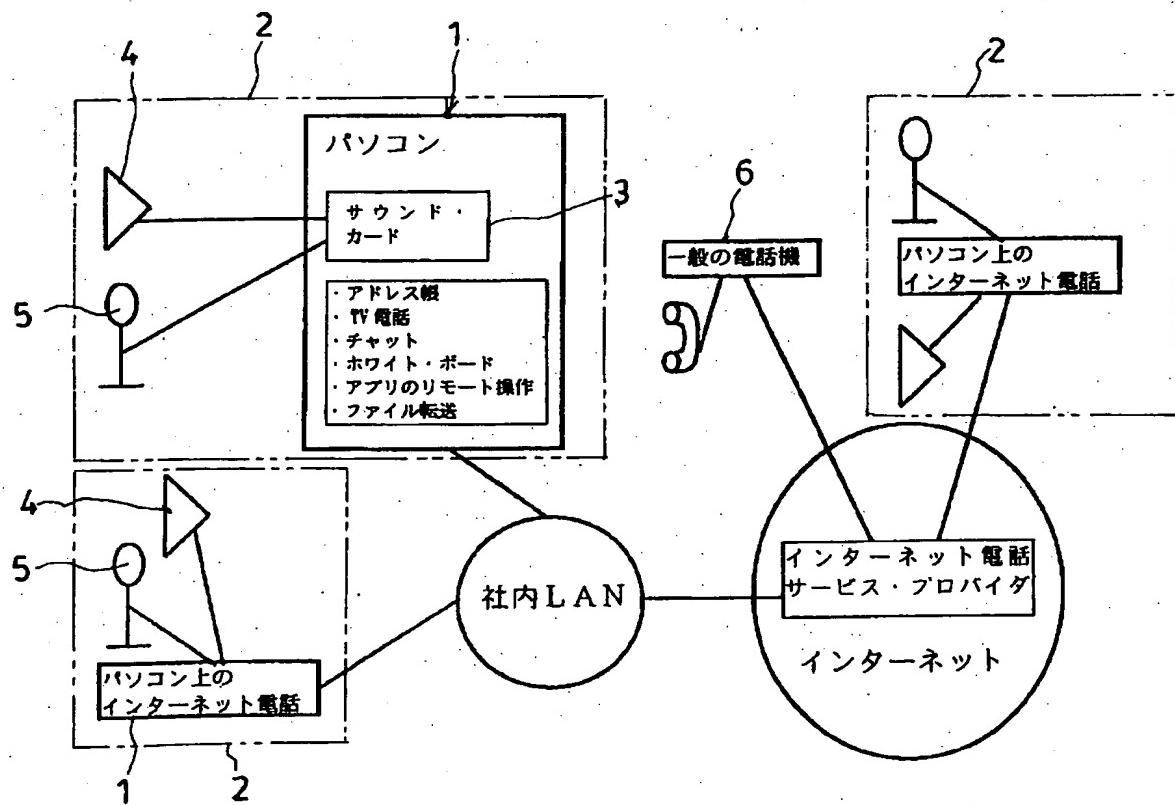
特開2001-86209
(P2001-86209A)

(6)

【図4】



【図5】



INTERNET PHONE

Patent Number: JP2001086209
Publication date: 2001-03-30
Inventor(s): TAWARA YOSHINORI
Applicant(s): MITSUMI ELECTRIC CO LTD
Requested Patent: JP2001086209
Application Number: JP19990262643 19990916
Priority Number(s):
IPC Classification: H04M1/03; H04M11/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve convenience of an internet phone.
SOLUTION: A handset 12 consists of a microphone 13 and a speaker 14 connected to a personal computer 11 of an internet phone 10 and contained in one case. Furthermore, a destination bulletin board function is added to the internet phone 10 to inform a caller side internet phone 10 about its destination. Moreover, an automatic telephone answering function is provided to the internet phone 10 to record a message or a memo or to transfer a file.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

特実： P 特許 出願番号： 特願平11-262643 (平成11年(1999)9月16日)

公開番号： 特開2001-86209 (平成13年(2001)3月30日)

公告番号：

登録番号：

出願人： ミツミ電機株式会社 (1)

発明名称： インターネット電話

要約文： 【課題】 インターネット電話の利便性を向上する。【解決手段】 インターネット電話10のパソコン11に接続されたマイク13とスピーカ14とを一つの筐体に収容してハンドセット12を形成する。また、インターネット電話10に行き先掲示板機能を付加して呼出し側のインターネット電話10へ該行き先を通知する。また、該インターネット電話10に留守番電話機能を設け、用件やメモの記録或はファイルの転送を可能とする。

公開IPC： *H04M1/03, IH04M11/00, 302

公告IPC：

フリーKW： インターネット、電話、利便性、向上、音声、切換スイッチ、USB、留守番電話、モード、省スペース化、位置調整、パソコン、接続、マイクロホン、スピーカ、1つ、筐体、収容

自社分類：

自社コード：

最終結果：

関連出願： (0)

審判：

審決：

対応出願： (0)

中間記録

受付発送日	種別	料担コード	条文	受付発送日	種別	料担コード	条文
1999/09/16	63 出願書類	21000					